



きたがわ 北川 かつよし 議員 克良

議員ハラスメントについてのニュースがあったなあ

# 問 公共施設のスロープ改修の考えは

## 町長 大規模改修時などに整備していく

### 福祉計画について

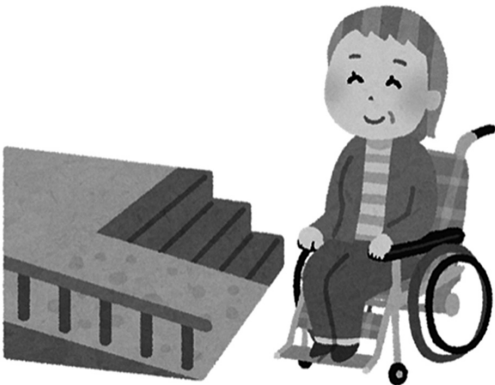
問 第7期訓子府町障がい福祉計画・第3期訓子府町障がい児福祉計画を策定する際に実施したアンケート調査により見えてきた課題は、  
町長町の福祉施策のあり方について相談しやすい体制の充実や保健医療体制の充実と回答された人が多く、情報を分かりやすく提供していくことや個々の状態に応じたサービスを提供できる体制を整備していくことが課題である。  
問 見えた課題で取り組んだ具体例は。

### スロープの改修

町長聴覚障がいのある方から手話講座の開催や役場に手話通訳配置の要望があった。  
まずは手話だけでなく障がいに対する理解を深めるために手話体験講座の開催準備を進めている。

問 公民館、図書館のスロープ改修の考えは。  
町長安全で快適な利用環境整備のため、現在策定中の「公共施設長寿命化修繕計画」を基

に、他の公共施設の改修実施時期などの調整を図りながら、大規模改修などに合わせて整備していきたいと考えている。  
問 今は、工事が大規模になり費用がかさむから難しいということだが、障がいや加齢で体力が低下した時に自力で行ける場所を広げていく考えは。  
町長町民が多様性を持った中で生活できる環境が理想の形だと思っている。それに向けて頑張っていく。



ゆるやかなスロープを

### 問

町の再エネ計画における環境への影響は

### 町長

環境への配慮に努めていく

### ゼロカーボンシティ

問 ゼロカーボンシティ宣言に伴い策定する本町の計画における環境などへの影響は。  
町長再生可能エネルギーの導入に伴い、景観や生態系への影響、騒音、環境トラブル、土砂災害などが発生し、その施設が地域の利益にならず、迷惑施設と捉えられる事案が多数発生していることは認識している。北海道の環境配慮基準を計画に反映させ、環境への配慮に努めていく。

す補助金制度の新設の考えは。  
町長最新の省エネ効果の高い家電に更新することは効果があると考えているが、財源となる国や道などの補助事業が現状ではない。しかしながらゼロカーボンの実現に向け策定する実行計画の施策づくりの中で検討していく。

### 補助金制度の新設

問 既存の冷蔵庫、エアコンなどを最新の省エネ家電に買い替えを促



北川議員の一般質問を視聴できます